

## ふみびと

その日を思い  
日々を歩んで

## 節目の瞬間

第379号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

先日発表された、ある

スポーツ選手の引退。野  
球のメジャーリーグ、ロ  
サンゼルス・ドジャース  
のクレイトン・カリーショ  
ウ選手。メジャーリーグ

では珍しく、一つの球団  
でプロ野球人生を全うし、  
ドジャースファンや仲間  
から愛されてきたその足  
跡。ふとどんな思いでそ

の人生の節目の瞬間を迎  
えたのだろうか、と気にな  
りました。

学校の卒業や仕事の定  
年退職、我が子の独り立

ちなど、それまでの自分

の「役割」から離れる節  
目の瞬間というのは、今  
まで歩いてきた道を振り  
返る特別なもの。

スター選手のように盛  
大な引退式が行われるわ  
けではなくても、人生に  
たった幾度かの自分だけ  
の大切な瞬間のように思  
えます。

いずれ自分が「引退」  
する時が来たら、どんな  
思いを持ってその瞬間を  
迎えるだろう。今まで必  
死に走り続けてきた道を



振り返って感慨にふける  
でしょうか。それとも新  
しい人生の始まりに胸を  
躍らせているでしょうか。

あるいはひと言では言い  
表せないような思いにと  
もに、涙が込み上げてく  
るのかもしれない。

少なくともその時に、  
それまでしてきたことの  
思い出の一ページーペー  
ジが胸に刻まれているよ  
うな生き方をしていたい  
ものです。

## 風と波

車を走らせていると、道の先に  
白い灯台が見えてきた。観光地と  
いうほどの場所でもなく、看板も  
ない。ただ、海に向かってぼつ  
んと立っている、少しさびしい  
場所である。だからこそ、その

姿に心惹かれて、車を止めた。気  
持のよい風が吹いていて、シャ  
ツの裾が軽やかに揺れる。人の気

分だけの世界。目を開けたとき、

胸の奥に何かが静かに満ちていた。  
日々の暮らしで目にし、考え、追  
いかけているもの。そのすべてを  
手放してよい時間だった。そこ  
にいたのは、ただ「いるだけ」  
の自分。何かを成し遂げなくて  
も、意味を見出さなくても、ただ  
存在しているということ。それが、  
思いがけず満ち足りた感覚だった。

風に揺られて誰かに届け  
風船便

風船便はいつでも誰でも参  
加できますが、その受取は新  
規の方へ優先されます。  
誰に届くかは風次第…。送  
り方は簡単♪下の風船便切手  
を切り取って手紙に貼り宛名  
に「風船便を受け取った方へ」  
と書いて、差出人名を書くだ  
けです。事務信同。な始  
では、宛の筒さで流  
局用封下ま交り  
今い



## 次回発送日

次回発送日は10月27日  
の予定です。送りたいお

手紙がある場合は24日ま  
でに事務局に到着するこ  
とをお近くの郵便局で確  
認の上、ポストに投函し  
て下さい。これは発送に  
間に合わせるための目安  
ですので、ご自身のペー  
スを大切にしてください。

## 新機能追加のお知らせ

10月1日にマイペー  
ジ上で「じぶん地図」がリ  
リースされました。好き  
なことや趣味など手帳風  
に自分だけの地図を描い  
てみませんか？その地図  
をきっかけに、新たな交  
流が始まれば幸いです。

